

「本堂屋根の雨漏りについて」

平成20年11月に住職交代する際、事前に先代住職からは「本堂屋根の葺き替え工事」が提案されていましたが、その後、「晋山式準備委員会」を発足して協議した結果、会員の皆様に大きな負担をお願いする本堂屋根の葺き替えは緊急性が少ないので見送り、代わりに無縫塔を建設させて頂きました。当時は、無縫塔により会員が増えれば、自ずから改修資金も出来るので、次の住職交代迄に銅板で葺き替たいと考えていましたが、残念ながらその目は立っていません。

一方、当初は台風時のみの雨漏りでしたが、昨年冬それほど強くない雨でも雨漏りする場合があります。確認していただきました。天井板も一部割れて来ていますので、5月、業者に調査を依頼

したところ、やはり銅板の割れ等も進んでいて、このまま放置すれば屋根を支える構造物も交換する必要性が出てくる、とのことでした。

人件費や建築資材も高騰する昨今、銅板での葺き替えは無理ですが、ガルバリウム鋼板であれば皆様に新たな負担を掛けず、護持積立金で賄えそうです。将来的なことを考えると、早めに修理しておいた方が良くのではないかと考えますので、次年度予算案に向け、今後随時ご説明して参ります。



實相寺花園會報

令和五年
九月一日発行
發行所
臨濟宗妙心寺派
陽明山 實相寺
實相寺花園會
〒761-0450
高松市三谷町
1811番地1
TEL.087-889-3838
編集發行人
山本文匡
<https://www.jissouji.net>

第173号

お寺の掲示板

海の中の魚が海の話聞いて海を見たいと思ったら、どうしますか？海は外からでしたら見ることができそうですが、海の中には海を見ることはできません。

私たちの仏心も同じです。

外に求めれば求めるほど、仏心から遠ざかってしまいます。ですから、外に求めるのをやめて静かに自分の呼吸だけを見つめてください。

円覚寺派管長 横田南嶺老大師

『ある日の法話より』 いろはにはへと』より

仏心の中に生まれ

仏心の中に生き

仏心の中で

息を引き取る

「これからのお寺の役割とは③」
 毎年お盆には「今年の夏は特別暑い
 ですね」という挨拶を交わしている気
 がしますが、実際、今夏の平均気温は
 過去最高だったそうです。加えてお互
 いに年を重ねています。父が還暦の頃
 には、私も棚経を手伝っていました。私
 は一人で回っています。体力には限
 界があるので、いずれ色々で見直す時
 が来るな、と感じた夏でした。

さて、先日『これからの供養のかた
 ち』（井出悦郎著、祥伝社新書、20
 23）という本を読んだところ、面白
 い引用がありました。統計数理研究所
 の「日本人の国民性調査」によると、「1
 958年は若い世代ほどあの世を信じ
 ない傾向があったが、2013年には
 高齢世代ほどあの世を信じない傾向だ

った」というのです。

恐らく団塊世代を中心とする人達は、
 科学技術の発達や戦後の高度経済成長
 を経験したことに加え、戦時中の極端
 な精神主義への反発もあってか、合理
 的な考え方が浸透したのでしょう。

一方、93年のバブル崩壊からリーマ
 ンショック以降の約20年間は大卒でも
 就職がなく、非正規雇用や未婚の若者
 が増えました。最近のアニメで流行っ
 ている転生願望を見ると、そうした世
 の不条理を経験した人達が、どこか現
 実ではない別の場所に救いを求めてい
 る様な気もします。では今後はどうな
 っていくのでしょうか？

思うに、今後人工知能（AI）の普
 及と共に、社会は益々複雑で不条理に
 なっていくでしょう。何故ならアナ口

グな機械の仕組みは、時計の歯車のよ
 うに理解することができませんでした。

しかし、AIが生成するアルゴリズム
 ムを人間は理解することが出来ません。
 完全なブラックボックスです。ですか
 らAIが試験の可否を判定したり、勤
 務評定を下したりした場合、何故そう
 という結果になったかは誰にも判らない
 ということもあり得るでしょう。

また医療技術や医薬の研究も進んで、
 寿命はさらに延びるでしょう。ただ最
 先端の治療や薬は大変高価な為、全て
 の人がその恩恵に浴することは出来ま
 せん。その結果「生老病死」の格差も
 拡大するのではないかと思われま

そう思うと、今後は若い世代だけで
 なく、高齢世代にも厭世観が広まり、
 全世代であの世を信じる人が増えるの

ではないか？とも予想できます。

そんな時に大切なのが宗教に対する
 「リテラシー（情報を鵜呑みにせず、
 正しく判断する能力）」です。

最近もオカルトブームだといわれて
 いますし、言葉巧みに勧誘して、顧客
 の理性的判断を奪うような、カルトま
 がいのネットワークビジネスやマルチ
 商法は後を絶ちません。

やはり経済的不安や健康不安など、
 様々な悩みを抱えている人は、何かに
 依存しがちだということであり、あの
 世を信じる人が増えたからといって、
 決して宗教心のある人が増える訳では
 ないのですが、そうした不安定な社会
 の中であって、正しい教えを発信して
 いくこともお寺の大切な役割の一つだ
 と考えています。（続く）